

2022年度事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

NPO法人いるか

1 (1) 事業実施の主な成果

- ・コロナ禍・物価高騰の中でのこども達の生活、教育環境をサポートする事業の実施。
- ・コロナ禍物価高騰の中での地域住民と共に、生活扶助方の課題解決型プラットフォームの形成。
- ・九州圏域で、各種団体と連携しこども達を支えるための教育、生活支援のためのプラットフォームの形成。
- ・福祉事業における収益の改善、新規事業の実施。
- ・フードバンク事業の実施。
- ・市民活動団体等に対する助言、助成事業の実施。

(2) 事業概要報告

コロナ禍・物価高騰の中で、法人は児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉の福祉領域にまたがり、いるかの全職員、ボランティアは、困った人々を笑顔にするために全力で活動を行った。

福祉事業

1. 収益の状況

2022年度は、2019年度から収益の改善が行われていたが、福祉事業はコロナ禍の中で、夏季、冬季に大幅な感染拡大の影響を受けて収益が減退し大幅な赤字に転化した。来年度前期は、昨季の状況を受けて支出の改善などを実施し、安定継続的な経営改善を実施する。後期には、新規事業を実施してより強固な経営基盤を実施する。

2. アフターコロナの中でオンライン化、クラウド化を活かした事業改善

コロナ禍による様々な困難の中で、オンライン化、クラウド化などの整備を進めた。コロナ禍の中で、研修や訪問などが実施できない状況もあったが、次年度はコロナの収束の方向性を鑑み事業状態を復旧していく。

3. こども支援との連携支援

コロナ禍、物価高騰の中で、生活が困難を抱える人々に対し、福祉、こども事業と連携を強化させ、事業を実施。

4. 社会貢献事業

- ① オンライン学習支援事業では、休眠預金事業に採択され、九州北部地区にて実行団体8団体に向けノウハウを普及・伴走支援する中で学習支援事業を実施。
- ② 食品提供事業では、全国団体と連携し食品の提供を実施。
- ③ 低コストのカーシェア等の普及のために車事業者等との連携
- ④ こども食堂やフードパントリー普及のために、筑豊、福岡市などで120カ所実施。
- ⑤ ウクライナ避難民のための食品提供、啓発イベントを実施
- ⑥ 子ども支援団体や有識者を集めた「九州こどもフォーラム」を2日間に渡って開催

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施予 定日時	実施予 定場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の予算 額(千円) ※端数四捨五入
① 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	障がい者のための居宅介護・短期入所生活介護事業を実施。	通年	福岡市 西区・ 早良 区・糸 島市	60 名	障がい者 130 名	103,803
② 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく一般相談支援事業及び特定相談支援事業	障がい者のための相談支援及び特定相談支援を実施。	通年	福岡市 西区・ 早良 区・糸 島市	2 名	障がい者 100 名	2,636
③ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業	実施なし					
④ 地域との交流イベント及びセミナー企画運営	実施なし					

⑤ 地域活性化のためのボランティア活動の運営及びサポート	こども食堂タベルバの運営	通年	福岡市 西区	約 300 人	地域住民 約延 400 人	12,790 (事業⑩を含む)
	こども食堂の連携や情報の共有を目的としたネットワークの形成	通年	福岡県	約 2000 人	県内の子ども食堂を利用する方 約 4,000 人	
	福岡市営住宅の自治会の方々の連携や情報の共有を目的としたネットワークの形成	通年	福岡市	約 40 人	市営団地 住民約 10,000 人	
	高齢者世帯を対象にしたゴミ捨てサービス等。	通年	福岡市	約 500 人	地域住民 約 500 人	
	困窮世帯に対する食糧支援事業	通年	福岡県	約 500 人	県内の生活 困窮者 約 24,000 人	
⑥ 高齢者のための家事援助・生活支援	実施なし					
⑦福祉有償運送	実施なし					
⑧ 買い物支援・移動支援等による地域安全・支え合い事業	実施なし					

⑨ 子どもの学習支援に関する事業	九州におけるSHARINGKNOWLEDGE マナビバの運営	通年	九州	約延 1000 人	九州圏内の 小中高生 約延 1600 人	30,118 (事業⑨を含む)
	コロナ禍における感染対策を実施したマナビバOnline 事業の運営	通年	九州	約延 1000 人	九州圏内の 小中高生 約延 1600 人	
	コロナ禍における感染対策を実施したLINE を利用した双方向型学習支援ASK!! マナビバ事業の運営	通年	九州	約 1000 人	九州圏内の 小中高生 約延 13,677 人	
	発達障がいの子供たちを対象にした学習支援事業	通年	福岡県	約 1000 人	福岡県圏内の 小中高生約延 67 人	
⑩ 防災支援・災害支援事業	豪雨災害等に対する支援活動	通年	九州	約 1000 人	被災者及び被災地域に住む子ども	1,953
⑪ 奨学金支援事業	実施なし					
⑫ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	障がい児童向けの放課後等デイサービスを実施する。	通年	福岡市西区	8 名	地域の障がい児童及び保護者 30 名	30,302
⑬ 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業	障がい児童向けの相談支援事業を実施する。	通年	福岡市西区	8 名	地域の障がい児童及び保護者 30 名	2,213

⑭ 介護保険法に基づく訪問介護事業	高齢者および要介護者に向けた訪問介護事業を行う	通年	福岡市 西区	50 名	高齢者 その家族 100 名	58,806 (事業⑮含む)
⑮ 介護保険法に基づく第 1 号訪問事業	高齢者および要介護者に向けた訪問介護事業を行う	通年	福岡市 西区	50 名	高齢者 その家族 20 名	事業⑭に含む
⑯ 介護保険法に基づく通所介護事業	高齢者および要介護者に向けた通所介護事業を行う	通年	福岡市 西区	10 名	高齢者 その家族 55 名	16,392 (事業⑰を含む)
⑰ 介護保険法に基づく第 1 号通所事業	高齢者および要介護者に向けた通所介護事業を行う	通年	福岡市 西区	10 名	高齢者 その家族 17 名	事業⑯に含む
⑱ 介護保険法に基づく居宅介護支援事業	高齢者および要介護者に向けた居宅介護事業を行う	通年	福岡市 西区	2 名	高齢者 その家族 40 名	9,233
⑲ アウトリーチ事業美及び養育支援訪問事業	登校拒否や虐待防止のための訪問事業	通年	福岡市 西区・早良区	5 名	子ども及び保護者延べ 4,029名	事業⑨に含む
⑳ フードバンク活動及び物資の配布等に関する事業	子ども食堂や子ども支援活動に取り組む拠点に食料支援、物資配布などを行う	通年	九州	2 名	子ども・保護者 延べ300000食	事業⑤に含む
㉑ 市民活動団体等に対する相談対応、助言、協力、人材育成および助成等の事業	休眠預金など活用における資金分配団体として、オンライン学習支援に取り組むNPO等への助成金支出、及び伴走支援	通年	九州	3 名	関係団体 8 団体 子ども述べ約 1900人	5,678
㉒ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	上記事業を進めるために必要な事業	通年	福岡市 西区・早良区	10 名	関係団体 10 団体	798